



○甲府城南商店街振興組合
理事長 福島敏三氏

商店街の現況

本組合は、紅梅地区の再開発に対応し街区全体(ココリから岡島百貨店・山梨中央銀行本店までの地区)のまちづくりを行うために、4つの商店会が大同団結し、平成21年6月に設立されました。

老朽化したアーケードを新たなアーケードに架け替え、それまで甲府市中心街の「オリオン通り」の名称で長年親しまれてきた商店街を、「オリオン・スクエア」として、「通り」から「広場」へと生まれ変わりました。

当商店街の特徴としては、県庁・市役所に近く、百貨店などを含む広域型商店街であり、最寄り品より買回り品を扱う商店が多くあります。

組合の活動

商店街の活性化を図るため、オリオン・スクエアでは、県立宝石美術専門学校(学生等と共に実施するジュエリーファッションショー)や毎月開催する第2土曜日、ストリートミュージシャンによるライブなどのイベント開催を行っている他、タウン誌の発行を行い商店街の店舗紹介や各種情報の提供を行っています。

また、商店街活性化へと繋げるため、全国商店街振興組合からの「地域商店街活性化事業」を活用し、空き店舗を借り上げ地域住民や学生などが展示会や各種イベントの開催に利用できる「交流広場」を開設しました。

その他にも、人材育成・賑わいの創出のため、甲府城南商店街の魅力再発見・創造事業を企画し、現在「地域商店街活性化事業」に応募しています。

今後の展開

当商店街は、大型商業施設オギノとともに歩んできた歴史があります。現在、再開発ビル「ココリ」がイオングループの支援を得て改装することが話題になっています。

大型商業施設との関連を模索しつつ、商店街の魅力でもある「人と人のつながり」を大切にしていきたいと考えています。そして、個店ならではの良さを発揮し、この街へ来られるお客様に喜んでいただけるような商店街を目指していきたいと考えています。



第2土曜市の様子